

# 特別会計決算

特定の事業を行う場合、または一般会計と区分して経理する必要がある場合に設置する会計です。

## 国民健康保険事業

国保年金課 ☎072-433-7271

令和2年度の国民健康保険の加入者数は、令和3年3月末時点で、1万796世帯、1万7,242人となりました。前年度に比べ、207世帯、531人減少しています。

主な歳入は、国民健康保険料が18億1,366万円、国庫支出金が3,194万円、府支出金が67億8,665万円、繰入金が9億1,587万円、諸収入が1,649万円、繰越金が6億1,751万円となっています。

主な歳出は、総務費に1億5,657万円、療養費や高額療養費などの保険給付費に66億1,440万円、大阪府に支払う国民健康保険事業費納付金に24億6,498万円、人間ドックや脳ドック、特定健診の助成を行う保健事業費に5,375万円となっています。

人間ドックの受診件数は294件、脳ドックの受診件数は151件、特定健診の受診件数は3,431件となりました。

## 介護保険事業

高齢介護課 ☎072-433-7043

令和2年度の介護保険の第1号被保険者数は、令和3年3月末時点で、2万2,735人、要支援・要介護認定者数は5,351人となりました。前年度に比べ、それぞれ33人、268人増加しています。

歳入額75億5,123万円の内訳は、公費負担(国・大阪府・貝塚市)と40歳以上のみなさんに納めていただいた保険料です。前年度に比べて2億1,086万円の増額となっています。

歳出額は73億961万円で、前年度に比べて1億4,361万円の増額となっています。主な内訳は、居宅介護サービス給付費が34億3,400万円、施設介護サービス給付費が14億2,006万円、地域密着型介護サービス給付費が9億874万円で、その大半を占めています。

また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進め、いつまでも元気に暮らすことができるように介護予防事業、認知症対策・権利擁護事業などを行っています。

## 後期高齢者医療事業

高齢介護課 ☎072-433-7043

後期高齢者医療制度の運営は、大阪府のすべての市町村が加入する「大阪府後期高齢者医療広域連合」が行っています。市では、保険料の徴収、申請や届出の受付など窓口業務を行い、後期高齢者医療特別会計を設け、医療費に充てるため、被保険者のみなさんからいただいた保険料を広域連合へ納付しています。

令和2年度の市の後期高齢者医療保険の加入者数は令和3年3月末時点で、1万1,621人となりました。前年度に比べ、27人増加しています。

歳入額は、11億9,461万円で、前年度に比べて9,597万円の増額となっています。主な内訳は、保険料と保険料の軽減分および事務費に対する一般会計からの繰入金です。

歳出額は、11億8,735万円で、前年度に比べて9,657万円の増額となっています。主な内訳は、大阪府後期高齢者医療広域連合への保険料の納付金、業務運営に係る事務費です。

# 企業会計決算

地方公営企業法(地方公共団体の経営する企業および事業に適用される法律)に基づき、独立採算を基本とする企業の経営を行うための会計です。

## 病院事業

病院総務課 ☎072-438-5500

令和2年度の貝塚病院の利用状況は、延べ患者数で入院が5万6,458人(前年度に比べ8,722人、率にして13.4%減)、外来が15万7,128人(同1万7,212人、同9.9%減)となりました。

また、医療機能充実および院内感染対策に係る対応のため、電子カルテシステム、全身用コンピュータ断層撮影装置、過酸化水素低温プラズマ滅菌装置、陰圧装置などを整備しました。

経営状況は、総収益76億3,305万円に対し、総費用が72億1,989万円となり、差引4億1,316万円の純利益を計上しました。また、特別利益・特別損失を除く経常収支は2億2,611万円で3期ぶりの黒字となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、今後も当院の医療資源を有効に活用し、健全経営に努めます。

## 水道事業

上下水道総務課水道担当 ☎072-433-7143

令和2年度の給水状況は、地下水などを浄水した自己水と大阪広域水道企業団からの受水により配水し、有収水量は935万5,082m<sup>3</sup>となり、前年度と比較して3,385m<sup>3</sup>(0.1%)増加しました。

また、かいづか水道ビジョン2019に基づき7億1,816万円を投じ、老朽管布設替工事や津田浄水場への自家発電設備の設置などを実施しました。

経営状況は、総収益17億8,683万円に対し、総費用17億5,719万円で、差引2,964万円の純利益を計上し引き続き黒字となりました。

今後も給水収益などの収益の減少や減価償却費などの費用の増加が見込まれますが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う水需要の動向を注視しつつ、安全安心な水道水をお届けできるよう健全経営に努めます。

## 下水道事業

上下水道総務課下水道担当 ☎072-433-7180

令和2年度の汚水処理状況は、有収水量が637万6,826m<sup>3</sup>となり、前年度と比較して19万5,452m<sup>3</sup>(3.2%)増加しました。

また、第4次貝塚市中長期下水道整備計画に基づき10億8,727万円を投じ、汚水事業では、汚水管布設工事の実施により処理人口普及率は64.8%となりました。雨水事業では、施設の老朽化対策として雨水ポンプ場の改築更新事業を実施しました。

経営状況は、総収益23億3,805万円に対し、総費用23億787万円で、差引3,018万円の純利益を計上し引き続き黒字となりました。

今後も汚水管布設工事や施設の老朽化対策に伴い減価償却費などの費用の増加が見込まれますが、安定的な下水道サービスを持続できるよう健全経営に努めます。

## 会計別決算額

区 分	病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収入	76億3,305万円	17億8,683万円	23億3,805万円
収益的支出	72億1,989万円	17億5,719万円	23億 787万円
収支差引	4億1,316万円	2,964万円	3,018万円
経常収支	2億2,611万円	3,133万円	3,043万円
前年度末利益剰余金	0円	7億2,918万円	1,195万円
前年度繰越欠損金	32億6,621万円	0円	0円
その他未処分利益剰余金変動額	0円	7億2,918万円	4,224万円
当年度末利益剰余金	0円	7億5,882万円	8,437万円
当年度未処理欠損金	28億5,305万円	0円	0円
前年度末資金不足額	3億7,790万円	-25億 870万円	-4,190万円
単年度資金収支	3億 669万円	2億1,269万円	-1,390万円
当年度末資金不足額	7,121万円	-27億2,139万円	-2,800万円
企業債現在高	41億8,274万円	40億2,582万円	210億4,261万円
事業規模	58億5,391万円	12億 352万円	12億 64万円